

# 富士通テングループのCSR

富士通テングループは、「『誠』の精神こそがCSR活動の源泉であり、CSR活動は企業理念に基づく事業活動そのもの」との考えのもと、さまざまな活動を通じてステークホルダーの皆様から信頼される企業をめざしています。

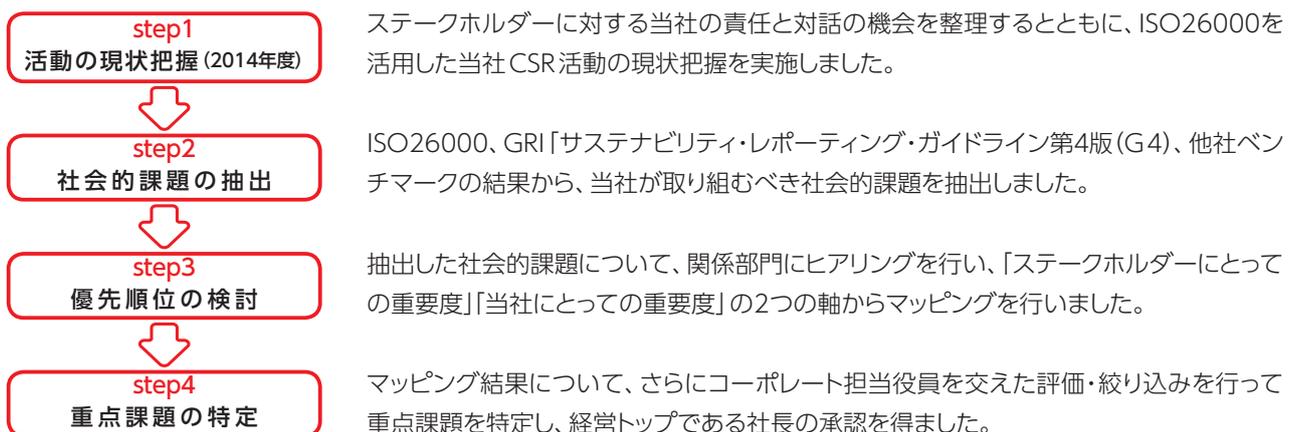
## CSR重点課題の特定

2016年には、よりステークホルダーの期待や要請に沿った富士通らしい活動を進めていくため、優先的に取り組むべき重点課題（マテリアリティ）を特定しました。

### 富士通テングループのCSR重点課題



### 重点課題特定のプロセス



### 2016年度以降の取り組み

富士通テングループとしての一体的なCSR活動をどのように進めていくべきか、方向性を議論する場として2017年1月からコーポレート部門の関係者が集まり「CSR座談会」を定期的で開催しています。また2017年7月にはコーポレート担当役員を交えた「コーポレートCSR会議」を開催し、各機能部門の2016年度の活動をレビューするとともに、2017年度の活動の方向性について議論しました。

今後は、座談会やコーポレートCSR会議での議論を通じて、CSR方針/社内体制の見直し・整備を進めるとともに、具体的な取り組み項目や目標、活動のマイルストーンを明確にしていきます。

## 重点課題と2016年度の主な取り組み・成果

重点課題		2016年度の主な取り組み・成果	関連ページ
消費者課題	お客様データの保護	●「個人情報保護方針」に基づく規定の整備・従業員への周知徹底(継続)	P.14
	お客様満足度の向上	●品質マネジメントシステムを新規格の「IATF16949」に準じたシステムに改定 ●品質に対する従業員の意識向上を狙いとした特別展示会を合計4回実施 ●4,660人の従業員がQCサークル活動(小集団活動)を実施(継続)	P.13-14
環境	製品による環境への貢献	●小型軽量化と画面の大型化・視認性向上を達成した薄型ディスプレイオーディオを開発 ●「機能そのものが環境負荷低減につながる製品(環境貢献製品)」をグリーン製品の社内審査基準に追加 ●「ISO14001:2015」のグローバル統合認証を業界最速で取得	P.15-16
		●新入社員の入社時教育や昇級時の階層別研修において、人権関連のプログラムを実施(継続) ●リーダー職を対象にパワーハラスメントに関する研修を実施	P.17
労働慣行	人権の尊重 (デュエリジェンス)	●新入社員の入社時教育や昇級時の階層別研修において、人権関連のプログラムを実施(継続) ●リーダー職を対象にパワーハラスメントに関する研修を実施	P.17
	人材の多様性 (ダイバーシティ)	●企業活動におけるダイバーシティの重要性、特に女性の活用の重要性について、全社員へ向けた社長メッセージを発信 ●女性の活躍を推進する「えるぼし」企業の認定(3段階目)を取得 ●仕事と家庭の両立への不安を解消し、将来のキャリアを考えるきっかけを提供するため女性の若手社員と先輩社員との座談会を開催	P.18-19
	ワークライフバランス	●計画的な業務遂行を推進し、働き方を見直すきっかけとするため、すべての従業員が3日間の計画休暇を取得する取り組みを実施	P.18-19
	従業員の健康推進	●健康啓発セミナーの対象を30歳までの若年層に見直し、食事・運動・ストレスのセルフケアなどを指導 ●受動喫煙防止の観点から、喫煙所の集約・屋外移設、禁煙セミナーなどの啓発活動を実施	P.19
公正な事業慣行	公正・公平な取引	●協力会「天栄会」の定期交流会にて「企業活動におけるコンプライアンス」をテーマに講演会を開催。お取引先など約250名が参加	P.20

## ステークホルダーとの対話の機会

ステークホルダー	対話の機会・ツール	ステークホルダー	対話の機会・ツール
お客様	お客様訪問による情報交換 お客様相談窓口(電話・Eメール) ユーザーアンケートはがき 展示会(モーターショー/技術展示会)	株主	株主総会 各種説明会 事業報告書・アニュアルレポート
従業員	職場力向上アンケート イントラ社内報 上司面談 相談窓口(人権/キャリア/こころの健康) 定例労働協議会 コンプライアンスライン	環境	CSR報告書 近隣企業との環境交流会 環境展示会への出展 地域環境保全活動への参加
取引先	仕入先総会/生産動向説明会 天栄会(総会/各分科会) 自主点検調査(品質/環境/CSR) コンプライアンスライン	社会(地域)	定期的な対話会・情報交換会 地域行事への参加・協賛 工場見学・工場招待イベント 地域防災福祉コミュニティへの参画 地域社会への貢献活動